

自治体の現状と課題

中学校数	4 校	生徒数（5/1 現在）	1345 人
運動部活動数	40 部	担当課	学校教育課
コーディネーターの人数	1 人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	0 人	地域指導者への謝金の金額	検討中 円/時
地域クラブへの参加費	検討中 円/月	部活動の休日の活動回数	4 回/月
部活動指導員の人数	0 人	部活動指導員の報酬	検討中 円/時
外部指導者の数	0 人	外部指導者への謝金の金額	検討中 円/時

- 人口減少が進んでおり、生徒数も減少が続いている。各校で部活動数を減らすなどの対応を行っているが、合同チームによる大会参加が必要なケースも散見される。
- 地域移行の取組の現状は、まだ具体的に進められていない状況である。本年度途中よりコーディネーターを設置することができた。部活動指導員を導入する形で、今後の取組を検討していく。

地域移行・地域連携の取組・成果

- 本年度途中よりコーディネーターを設置することができた。
- 地域の中で、地域展開の活動を担ってもよいとの考えをもっている方が一部にみえるので、今後具体的な連携の在り方を模索していく。
- 8年度より、休日部活動において、各中学校文化部を含め、2部活動为目标に指導者を配置する準備をしている。

運営体制図

教育委員会

○外部指導員、部活動指導員の発掘、確保や予算措置等

スポーツ団体

地域・保護者

○指導員の確保

中学校

部 活 動

教員の指導

自治体の現状と課題

中学校数	4 校	生徒数（5/1 現在）	1,345 人
文化部活動数	10 部	担当課	学校教育課
コーディネーターの人数	1 人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	0 人	地域指導者への謝金の金額	検討中 円/時
地域クラブへの参加費	検討中 円/月	部活動の休日の活動回数	4 回/月
部活動指導員の人数	0 人	部活動指導員の報酬	検討中 円/時
外部指導者の数	0 人	外部指導者への謝金の金額	検討中 円/時

- 人口減少が進んでおり、生徒数も減少が続いている。各校で部活動数を減らすなどの対応を行っているが、文化部では、吹奏楽等での人数減少が今後活動への支障につながる懸念がある。
- 地域移行の取組の現状は、まだ具体的に進められていない状況である。本年度途中よりコーディネーターを設置することができた。部活動指導員を導入する形で、今後の取組を検討していく。

地域移行・地域連携の取組・成果

- 本年度途中よりコーディネーターを設置することができた。
- 地域の中で、地域展開の活動を担ってもよいとの考えをもっている方が一部にみえるので、今後具体的な連携の在り方を模索していく。
- 8年度より、休日部活動において、各中学校運動部を含め、2部活動为目标に指導者を配置する準備をしている。

運営体制図

教育委員会

○外部指導員、部活動指導員の発掘、確保や予算措置等

スポーツ団体

地域・保護者

○指導員の確保

中学校

部 活 動

教員の指導

自治体の現状と課題

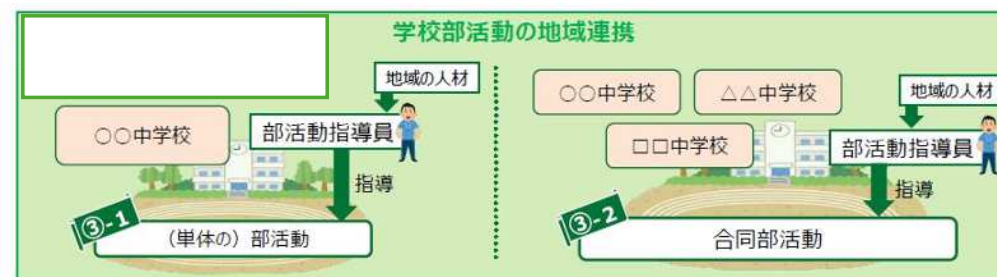
中学校数	6校	生徒数（5/1現在）	1385人
運動部活動数	53部	担当課	学校教育課
コーディネーターの人数	1人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会		
地域移行した種目	バレー、テニス、サッカー、バスケ、ソフトボール、野球		
地域指導者の人数	0人	地域指導者への謝金の金額	円/時
地域クラブへの参加費	円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	12人	部活動指導員の報酬	1598円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

- ・市内の中学校生徒数は、年々減少しており、平成24年度2,141人から令和6年度1,520人と621人減少（約▲29%）しています。
- ・少子化の影響で、大会への参加が難しくなっています。
- ・部活動の数が減り、生徒の活動する機会が減少傾向にあります。
- ・小規模な学校や部活動の種類が多い学校では、教員数に対して担当する部活動の数が多く、経験や専門知識を持たない部活動の顧問を務めざるを得ない状況があります。
- ・部活動を地域クラブ活動に移行する場合、保護者の送迎や費用負担が増加するほか、生徒が新しい環境に適應する際のストレス等が懸念されます。
- ・部活動の指導を教員以外で行う場合、専門的な指導員の確保する必要があります。（質・量・待遇面の確保）
- ・地域移行を進める上での課題は、運営コストが増加するため、持続可能なくみが必要。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・愛西市は、休日の部活動を部活動指導員を確保し、地域の協力を得て **今の部活動と同じ種目を 同じ場所で 同じ時間で 実施**
- ・教員による休日の部活動指導の廃止をめざす。
- ・平日はこれまで通り教員が勤務時間内で部活動を指導する。
- ・将来的には部活動指導員を中心に地域クラブを立ち上げ、自主運営化をめざす。
- ・部活動指導員
時間1598円支給（年間175時間（週5時間×35週）を上限）
- ・指導者研修（市内消防署による救急救命講習、夏季・冬季休業中に部活動コーディネーターによる実施→次年度は外部講師派遣の予算化を検討中）
- ・地域移行の取組の現状
令和7年度は部活動指導員を12名予算化（12月1日現在12名配置）
令和7～9年度にかけ、全部活配置をめざして部活動指導員の確保に努める

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	6校	生徒数（5/1現在）	1385人
文化部活動数	9部	担当課	生涯学習課
コーディネーターの人数	1人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会、民間の地域団体（試行事業）		
地域移行した種目	（吹奏楽、オーケストラ）※試行事業		
地域指導者の人数	4人	地域指導者への謝金の金額	1600～2666円/時
地域クラブへの参加費	円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	2人	部活動指導員の報酬	1598円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

- ・市内の中学校生徒数は、年々減少しており、平成24年度2,141人から令和6年度1,520人と621人減少（約▲29%）しています。
- ・少子化の影響で、大会への参加が難しくなっています。
- ・部活動の数が減り、生徒の活動する機会が減少傾向にあります。
- ・小規模な学校や部活動の種類が多い学校では、教員数に対して担当する部活動の数が多く、経験や専門知識を持たない部活動の顧問を務めざるを得ない状況があります。
- ・部活動を地域クラブ活動に移行する場合、保護者の送迎や費用負担が増加するほか、生徒が新しい環境に適應する際のストレス等が懸念されます。
- ・部活動の指導を教員以外で行う場合、専門的な指導員の確保する必要があります。（質・量・待遇面の確保）
- ・地域移行を進める上での課題は、運営コストが増加するため、持続可能なくみが必要。

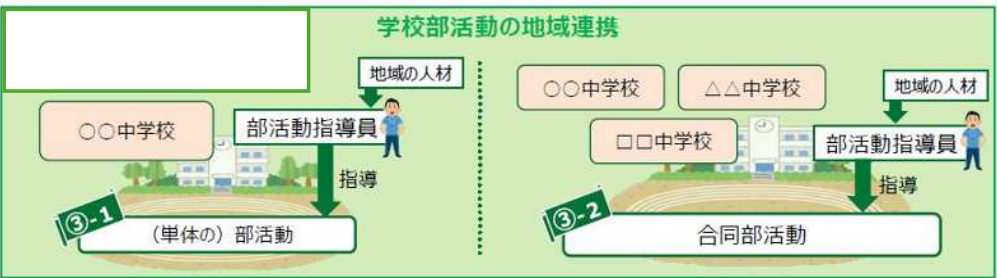
地域移行・地域連携の取組・成果

- ・愛西市は、休日の部活動を部活動指導員を確保し、地域の協力を得て **今の部活動と同じ種目を同じ場所で同じ時間で実施**
- ・教員による休日の部活動指導の廃止をめざす。
- ・平日はこれまで通り教員が勤務時間内で部活動を指導する。
- ・将来的には部活動指導員を中心に地域クラブを立ち上げ、自主運営化をめざす。
- ・部活動指導員
時間1598円支給（年間175時間（週5時間×35週）を上限）
- ・指導者研修（市内消防署による救急救命講習、夏季・冬季休業中に部活動コーディネーターによる実施→次年度は外部講師派遣の予算化を検討中）
- ・地域移行の取組の現状
令和7年度は部活動指導員を2名予算化（12月1日現在2名配置）
令和7～9年度にかけ、全部活配置をめざして部活動指導員の確保に努める

取組 面的・広域的な取組

市内外の中学生が地域クラブに参加、広域的な活動と大会出場を実現する新たな仕組みを構築。（文化部活動の地域移行に関する実証事業）
成果 部活動の指導を地域クラブと連携して行うことで、顧問の指導負担が大きく減少するとともに、地域の専門指導者が関与することにより練習内容の専門性・効率性が向上。

運営体制図



自治体の現状と課題

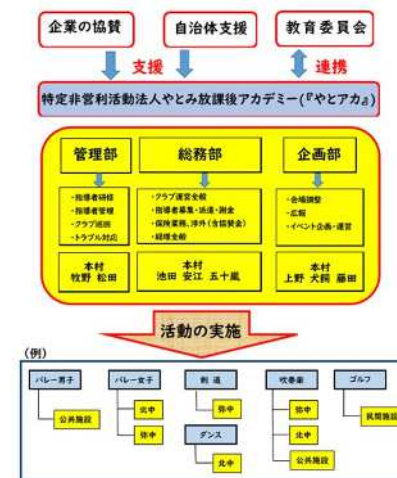
中学校数	2校	生徒数（5/1 現在）	1118人
運動部活動数	28部	担当課	学校教育課 生涯学習課
コーディネーターの人数	2人	市町村の方針	地域移行
運営団体	特定非営利活動法人やとみ放課後アカデミー		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	0人	地域指導者への謝金の金額	0円/時
地域クラブへの参加費	0円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	8人	部活動指導員の報酬	1,898円/時
外部指導者の数	3人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

- 課題としては必要経費。部活動の種目をできる限り移行しようとするとなれば、それなりの数の指導者が必要となる。また、指導者研修を行うにあたっては、経費がかかる。それらをどこまで受益者負担でまかなえるか。委託金や企業協賛金を募ったり、イベントを実施してその収益でカバーしていけたらと考えている。

地域移行・地域連携の取組・成果

- 地域展開の運営母体『特定非営利活動法人やとみ放課後アカデミー』の設立
総会が終わり、やがて登記を終え、地域展開に向けて活動を開始していく予定。
- 弥富市スポーツフェスティバルやチャリティマラソン、弥富市子ども会お楽しみ会、子ども食堂フェスタ等、多くの市民が集う場において、**地域クラブのチラシを配布して、地域クラブの認知が少しでも高まるよう工夫**している。今後、指導者募集チラシを配布し、指導者募集の一助としていく。
- 弥富市スポーツ協会理事会の場で、生徒の『居場所づくり』に協力していただける協会をお知らせいただくようお願いした。
- 弥富ライオンズクラブにも様々な面で協力をいただくようお願いしている。

運営体制図



自治体の現状と課題

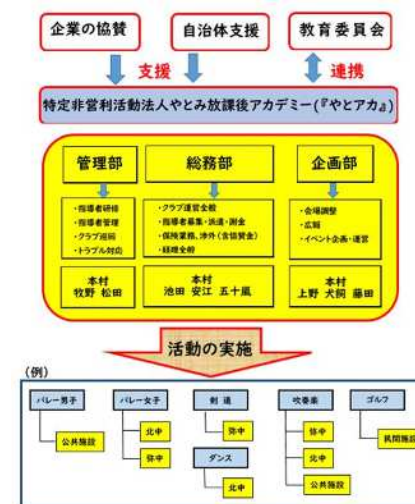
中学校数	2校	生徒数（5/1 現在）	1118人
文化部活動数	5部	担当課	学校教育課 生涯学習課
コーディネーターの人数	2人	市町村の方針	地域移行
運営団体	特定非営利活動法人やとみ放課後アカデミー		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	0人	地域指導者への謝金の金額	0円/時
地域クラブへの参加費	0円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	0人	部活動指導員の報酬	1,898円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

- 課題としては必要経費。部活動の種目をできる限り移行しようとするとなれば、それなりの数の指導者が必要となる。また、指導者研修を行うにあたっては、経費がかかる。それらをどこまで受益者負担でまかなえるか。委託金や企業協賛金を募ったり、イベントを実施してその収益でカバーしていけたらと考えている。
- 弥富市文化協会の会員は高齢の方が多く、また趣味で活動している方が多いので、中学生の指導となると難しい。ただ、個々に当たると受け入れ可の団体もあるので、アプローチしていこうと考えている。

地域移行・地域連携の取組・成果

- 学校の部活動以外で教えられる得意な分野をもっている指導者を発掘していこうと考えている。
- 弥富市スポーツフェスティバルやチャリティマラソン、弥富市子ども会お楽しみ会、子ども食堂フェスタ等、多くの市民が集う場において、**地域クラブのチラシを配布して、地域クラブの認知が少しでも高まるよう工夫**している。今後、指導者募集チラシを配布し、指導者募集の一助としていく。
- 木工、ドローン、経営学講習、フラワーアレンジメント等の指導者のめどがついている。

運営体制図



自治体の現状と課題

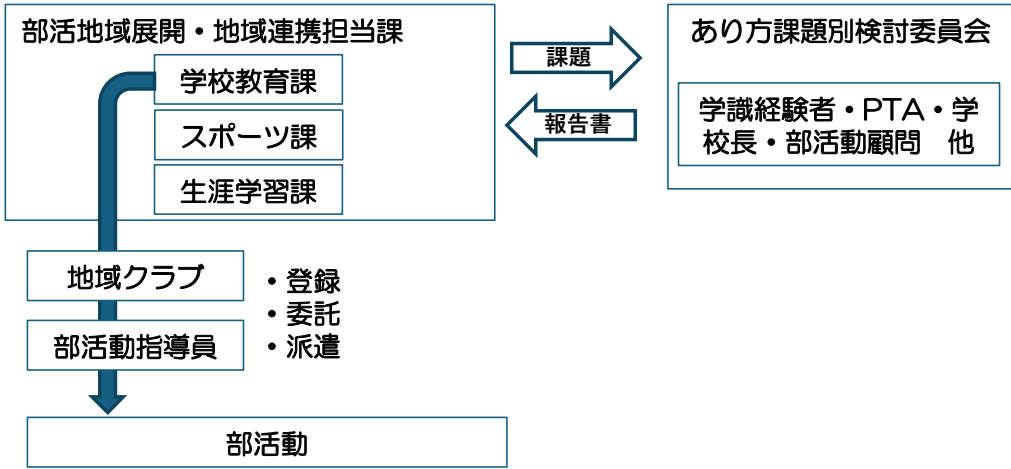
中学校数	5 校	生徒数（5/1 現在）	2,398人
運動部活動数	5 9 部	担当課	学校教育課・スポーツ課
コーディネーターの人数	1 人	市町村の方針	地域移行
運営団体	検討中		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	人	地域指導者への謝金の金額	円/時
地域クラブへの参加費	円/月	部活動の休日の活動回数	回/月
部活動指導員の人数	5 人	部活動指導員の報酬	1,600円/時
外部指導者の数	2 1 人	外部指導者への謝金の金額	一円/時

- ・人口減少等の地域全体の課題は、本市では、高齢化の進行とともに、今後も緩やかに人口が減少していくことが見込まれている中、現在市内5中学校中1校が小規模校であり、学校数を維持することや、学校のあり方から見直すことを含めて検討を進めている。
- ・地域展開の取組の現状は、令和9年度末までに地域展開・地域連携を行うことができるように休日部活動を段階的に縮小し、令和10年度からすべての部活動について地域展開・地域連携した形を目指す。
- ・地域展開を進める上での課題は、運動部では、令和7年度より地域展開・地域連携のモデル事業を実施してはいるが、文化部では取り組めていない現状がある。地域展開を進める上で、そもそもの仕組みづくりをどうするのか、方針が明確ではないことや、地域のクラブ・指導者等の社会資源を把握することなどが課題となっている。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・令和7年度より、地域展開・地域連携のモデル事業として、市内2中学校の柔道部に部活動指導員を配置し、指導に当たっている。
- ・来年度より、部活動指導員を配置する部活動を増やしていくとともに、地域クラブへの委託を検討中。
- ・地域連携・地域展開に関わらず、部活動の指導者としての資質向上のための研修等を広域で実施できるよう、検討中。
- ・現状、生活困窮者への支援、兼職兼業の基準については未着手。

運営体制図



自治体の現状と課題

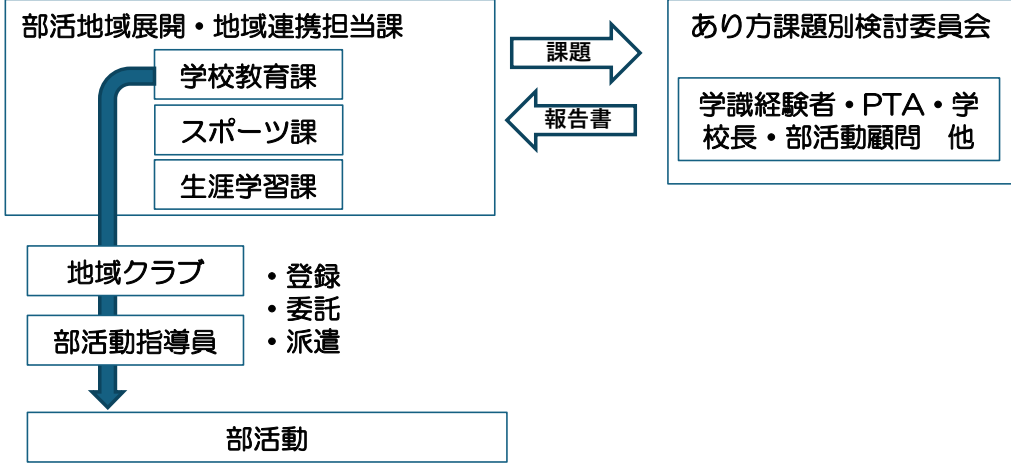
中学校数	5校	生徒数（5/1現在）	2,398人
文化部活動数	14部	担当課	学校教育課・生涯学習課
コーディネーターの人数	1人	市町村の方針	地域移行
運営団体	検討中		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	人	地域指導者への謝金の金額	円/時
地域クラブへの参加費	円/月	部活動の休日の活動回数	回/月
部活動指導員の人数	人	部活動指導員の報酬	円/時
外部指導者の数	1人	外部指導者への謝金の金額	一円/時

- ・人口減少等の地域全体の課題は、本市では、高齢化の進行とともに、今後も緩やかに人口が減少していくことが見込まれている中、現在市内5中学校中1校が小規模校であり、学校数を維持することや、学校のあり方から見直すことを含めて検討を進めている。
- ・地域展開の取組の現状は、令和9年度末までに地域展開・地域連携を行うことができるように休日部活動を段階的に縮小し、令和10年度からすべての部活動について地域展開・地域連携した形を目指す。
- ・地域展開を進める上での課題は、運動部では、令和7年度より地域展開・地域連携のモデル事業を実施してはいるが、文化部では取り組めていない現状がある。地域展開を進める上で、そもそもの仕組みづくりをどうするのか、方針が明確ではないことや、地域のクラブ・指導者等の社会資源を把握することなどが課題となっている。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・現在、具体的な取り組みはできていない

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	1校	生徒数（5/1 現在）	982人
運動部活動数	17部	担当課	スポーツ課
コーディネーターの人数	1人	市町村の方針	地域移行
運営団体	総合型地域スポーツクラブ スポーツプラスおおはる		
地域移行した種目	軟式野球、バレーボール、バスケットボール、陸上、ハンドボール、卓球、ソフトテニス、サッカー		
地域指導者の人数	人	地域指導者への謝金の金額	5千円～1万円/回
地域クラブへの参加費	500円/回	部活動の休日の活動回数	3回/月
部活動指導員の人数	0人	部活動指導員の報酬	円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	円/時

現状・・・大治町には1校しか中学校がなく、千人近い生徒が在籍している。部活動数が多いが、1つ1つの部活動の部員数が多く、限られた施設の中で活動量が十分に確保できていない。全部活動を教員が顧問となり指導しているが、競技歴、指導歴がない種目の顧問になり、大会運営や審判を依頼され教員の負担となっている。

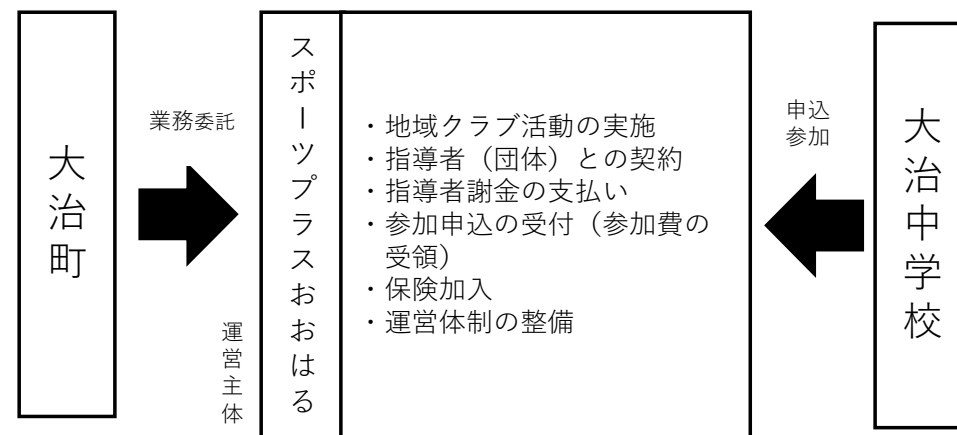
課題・・・7年度は月1回程度の実施で参加費も一部負担にて実施しているが、部活動と地域クラブ活動の差別化が図りづらく生徒や保護者、顧問の先生にとって煩雑なものとなっている。次年度は8月より月4回土日の部活動を地域クラブ活動へ移行していく予定があり、連絡調整や集金、生徒の出欠確認等をシステム化するために現在アプリの導入をすすめている。

地域移行・地域連携の取組・成果

取組・・・休日部活動の中の月1回程度の活動を、地域スポーツクラブ活動として実施する取組を行い、顧問・地域指導者の指導方針の擦り合わせや、幅広い種目に対応できるように指導者発掘のために企業への訪問や面談等を実施している。

成果・・・6年度から実証事業の種目数の拡大、8年度の地域クラブ活動のあり方について検討する意見交換会を開催し、休日の部活動地域移行について、次年度は地域クラブ活動へ完全に移行する体制が出来上がってきている。

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	1校	生徒数（5/1 現在）	982人
文化部活動数	7部	担当課	スポーツ課
コーディネーターの人数	0人	市町村の方針	地域連携
運営団体	総合型地域スポーツクラブ スポーツプラスおおはる		
地域移行した種目	吹奏楽		
地域指導者の人数	1人	地域指導者への謝金の金額	未定
地域クラブへの参加費	500円/回	部活動の休日の活動回数	3回/月
部活動指導員の人数	人	部活動指導員の報酬	円/時
外部指導者の数	人	外部指導者への謝金の金額	円/時

現状・・・大治町には1校しか中学校がなく、千人近い生徒が在籍している。部活動数が多いが、1つ1つの部活動の部員数が多く、限られた施設の中で活動量が十分に確保できていない。全部活動を教員が顧問となり指導している。文化部活動の中では吹奏楽とロボコン部のみ土日の活動があり、その他5部活は土日の活動は行っていない。

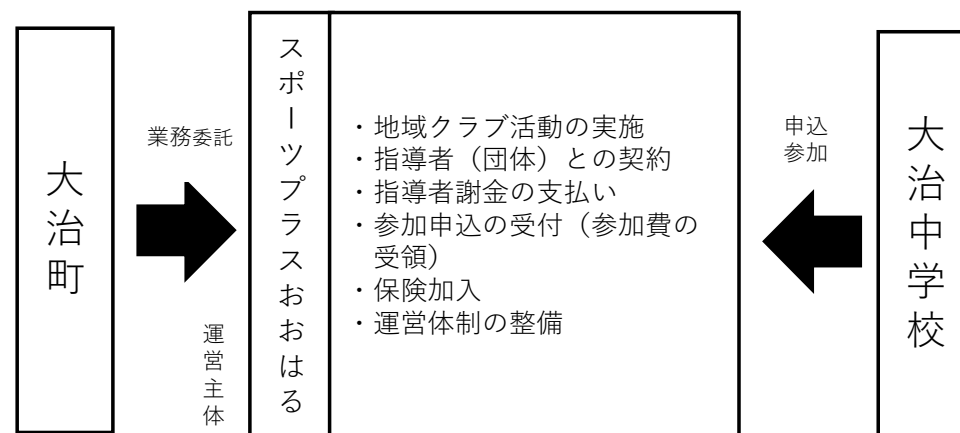
課題・・・文化部活動には専門性の高い種目もあり、指導者の確保が課題となっている。

地域移行・地域連携の取組・成果

取組・・・休日部活動の中の月1回程度の活動を、地域文化クラブ活動として実施する取組を行い、顧問・地域指導者の指導方針の擦り合わせや、幅広い種目に対応できるように指導者発掘のために企業への訪問や面談等を実施している。

成果・・・6年度から実証事業の種目数の拡大、8年度の地域クラブ活動のあり方について検討する意見交換会を開催し、休日の部活動地域移行について、参加者の多くから概ね理解を得ることができた。

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	2校	生徒数（5/1現在）	896人
運動部活動数	25部	担当課	教育課 生涯学習課
コーディネーターの人数	1人（共通）	市町村の方針	地域移行
運営団体	教育委員会・総合型地域スポーツクラブ		
地域移行した種目	剣道部（令和7年9月から実証事業）		
地域指導者の人数	3人（1回2人）	地域指導者への謝金の金額	1,600円/時
地域クラブへの参加費	0円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	0人	部活動指導員の報酬	円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	円/時

・町内には2つの中学校があるが、生徒数が少ない方の中学校では生徒数の減少の影響で顧問の教員が不足し、廃部せざるをえない部活動が出てきている。

・令和7年度より1校で廃部が決まっていた種目のうちの一つである剣道の地域クラブの実証事業を行い、その成果を活かして種目を増やしていく計画である。

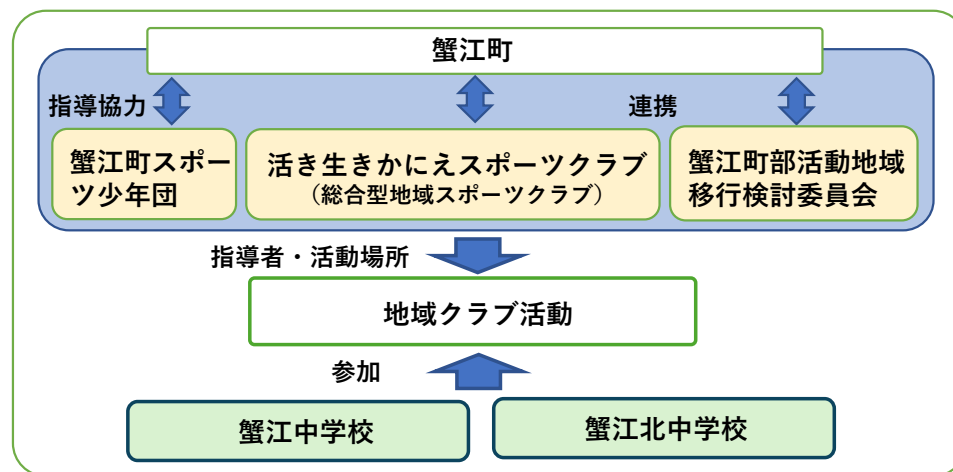
・現在、実証事業の他に地域クラブのガイドライン策定や指導員公募（教員の兼職兼業含む）に向けて準備を進めている。

・地域移行を進めるうえでの課題としては、指導者の確保とともに指導者研修をどのように行うかがあげられる。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・令和5年度に中学1・2年生・小学5・6年生と保護者、中学校教員、スポーツ協会加盟団体、スポーツ少年団加盟団体、文化協会加盟団体に対し、アンケートによる意識調査をした。
- ・令和6年度に部活動地域移行検討委員会を設置して検討を行い、令和9年9月より休日の地域クラブを本格始動させることを決定、令和7年3月にチラシを作成して小中学校の児童生徒に配布して周知した。
- ・令和7年1月よりコーディネーターを配置し、学校や関係機関との調整や、近隣自治体との情報交換を行っている。
- ・令和7年度は実証事業として9月より剣道クラブ運営を行っている。指導はスポーツ少年団の指導者で、運営の一部を総合型地域スポーツクラブに委託して持続可能な地域クラブの運営を探る。

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	2校	生徒数（5/1現在）	896人
文化部活動数	6部	担当課	教育課 生涯学習課
コーディネーターの人数	1人（共通）	市町村の方針	地域移行
運営団体	検討中（以下同じ）		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	人	地域指導者への謝金の金額	円/時
地域クラブへの参加費	円/月	部活動の休日の活動回数	回/月
部活動指導員の人数	人	部活動指導員の報酬	円/時
外部指導者の数	人	外部指導者への謝金の金額	円/時

・町内には2つの中学校があるが、文化部は両校合わせて6つの部活動しかなく、部員が10人に満たない部もある。

・文化部活動に関しては、まずは吹奏楽の地域クラブを令和8年9月に立ち上げる方向で調整を行っている。

・文化部活動の地域移行を検討するにあたって、使用する道具の運搬や保管、活動場所をどうするのか、などが課題となる。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・令和5年度に中学1・2年生・小学5・6年生と保護者、中学校教員、スポーツ協会加盟団体、スポーツ少年団加盟団体、文化協会加盟団体に対し、アンケートによる意識調査をした。
- ・令和6年度に部活動地域移行検討委員会を設置して検討を行い、令和9年9月より休日の地域クラブを本格始動させることを決定、令和7年3月にチラシを作成して小中学校の児童生徒に配布して周知した。
- ・令和7年1月よりコーディネーターを配置し、学校や関係機関との調整や、近隣自治体との情報交換を行っている。
- ・文化部活動に関しては、まずは吹奏楽の地域クラブを令和8年9月に立ち上げる方向で調整を行っている。

運営体制図

検討中

自治体の現状と課題

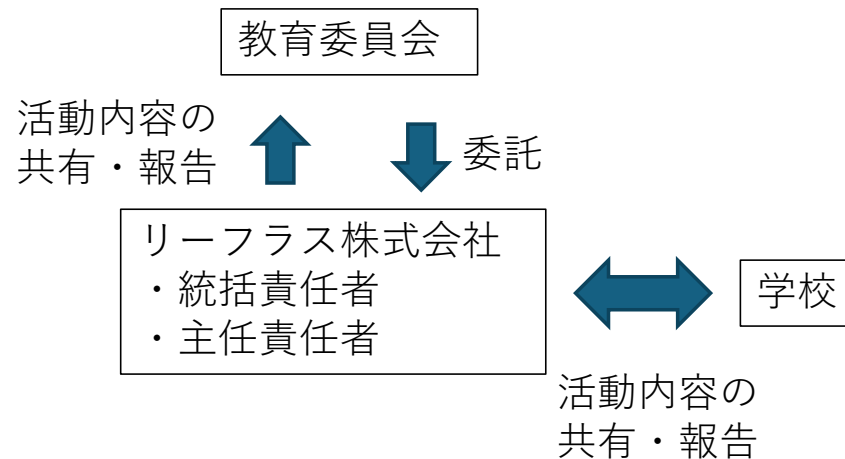
中学校数	1校	生徒数（5/1 現在）	149人
運動部活動数	6部	担当課	教育課 生涯教育課
コーディネーターの人数	0人	市町村の方針	地域移行
運営団体	リーフラス株式会社		
地域移行した種目	野球、サッカー、バスケ、ソフトテニス、卓球（男女）		
地域指導者の人数	6人	地域指導者への謝金の金額	円/時
地域クラブへの参加費	0円/月	部活動の休日の活動回数	4回/月
部活動指導員の人数	0人	部活動指導員の報酬	0円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

休日の部活動については、民間業者に委託し、完全に移行した。今後の課題としては、平日の地域移行、参加費の設定等が上げられる。また、生徒数が減少してきており、数年後には1学年1クラスになることが予想されるため、他地域との連携についても検討していく必要がある。

地域移行・地域連携の取組・成果

- ・ 休日の運動部の部活については、昨年9月より民間事業へ完全移行した。半年間実施した感想を、保護者・生徒にアンケートを実施し保護者からは、休日クラブ活動の運営、運営業者との連絡体制及び対応について約9割の保護者から一定の評価を得た。また、休日クラブ活動の指導について約9割の生徒から一定の評価を受けた。

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	1校	生徒数（5/1 現在）	149人
文化部活動数	1部	担当課	教育課 生涯教育課
コーディネーターの人数	0人	市町村の方針	地域移行
運営団体	なし		
地域移行した種目	なし		
地域指導者の人数	0人	地域指導者への謝金の金額	0円/時
地域クラブへの参加費	0円/月	部活動の休日の活動回数	0回/月
部活動指導員の人数	0人	部活動指導員の報酬	0円/時
外部指導者の数	0人	外部指導者への謝金の金額	0円/時

なし

地域移行・地域連携の取組・成果

休日に活動している部活動がないため、現時点で地域移行、地域連携の取り組みはしていない。
今後、平日の地域移行について検討していく必要がある。

運営体制図

なし